

令和6年度（令和5年度分） デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備交付金）効果検証

地域再生計画の名称		老人福祉施設佐山荘を活用した小さな拠点整備事業			事業名	老人福祉施設佐山荘を活用した小さな拠点整備事業				
年度	事業費	うち交付金	主な内容							
令和3年度 ～ 令和8年度	67,411,853 円	34,996,231 円	老人福祉センター佐山荘を多世代活躍・交流及びコミュニティビジネスの拠点として整備する。							
重要業績評価指数（KPI）		事業開始前 （現時点）	事業開始前 R3(2021年度)	1年目 R4(2022年度) ※工事	2年目 R5(2023年度)	3年目 R6(2024年度)	4年目 R7(2025年度)	5年目 R8(2026年度)	合計	
本施設の年間施設利用者数(人)		200	目標	0	0	250	300	350	400	1,300
			実績	0	0	1,665				1,665
			達成率(%)	0	0	666				
佐山学区自治振興会の専門部会における事業への参加人数(人)		0	目標	0	0	20	20	20	20	80
			実績	0	0	153				153
			達成率(%)	0	0	765				
佐山学区における総人口減少数の減少(人)		-30	目標	0	0	-28	-26	-24	-22	-100
			実績	0	0	-12				-12
			達成率(%)	0	0	43				
担当課	実施した事業内容		成果		課題		今後の方向性			
市民活動推進課	自治振興交付金交付事業		施設のリニューアルにより、これまでの福祉利用から幅広い世代やコミュニティビジネスに結びつくような事業が展開できた。利用者も増加傾向にある。		見守り活動や佐山学区人口の減少については、一時的な抑制の可能性があり、継続的なチェックが必要。様々な事業が計画段階（ランドデザイン）にあるが、具体的な事業化には至っていない。		地域支援員による事務局体制の強化を図るとともに、地域住民、市職員が共に定めた「地域づくり計画（事業実施計画）」「佐山地域ランドデザイン」の具現化が図られるよう、制度的、財政的支援を行う。			
事業効果					外部組織による本事業の評価（当日コメント）					
地域運営組織である佐山学区自治振興会の拠点が整備されたことにより、多世代活躍・交流の拠点としての機能が生まれた。また、拠点に留まることなく、アウトリーチにより町域への給食支援を開始されるなど、広域的な取り組みも生まれつつある。										